



MacBook Air 11" Late 2010マイクロフォン交換

MacBook Air 11" Late 2010のマイクロフォンを交換します。

作成者: Andrew Bookholt



はじめに

損傷したマイクロフォンを交換するにはこのガイドを使用してください。

ツール:

- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)

部品:

- MacBook Air 11" (Late 2010-Mid 2011) Microphone (1)

手順 3 — バッテリー



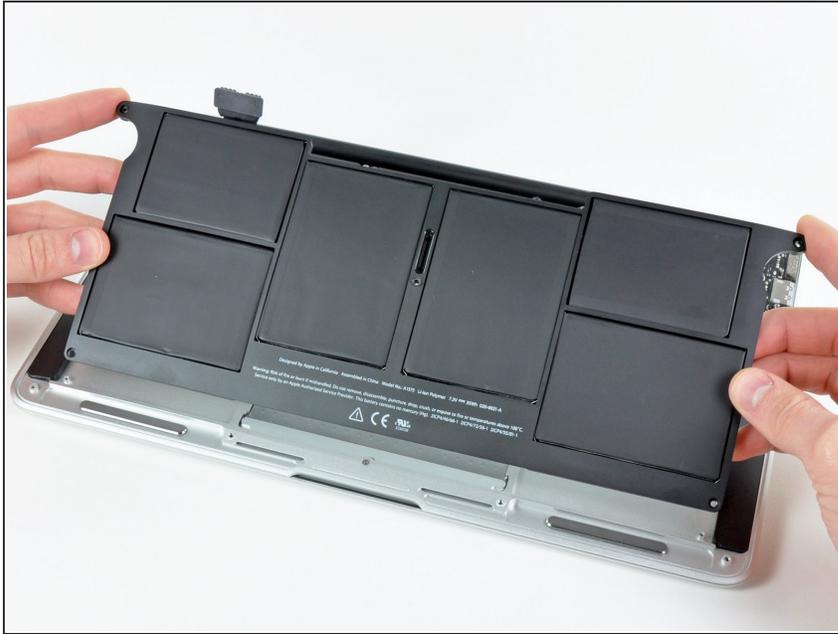
- ナイロンスパジヤーの平らな端を使用して、バッテリーコネクタの両側を上を持ち上げ、ロジックボード上のソケットから外します。
- ロジックボードからバッテリーケーブルを少し曲げ、コネクタが誤ってソケットに接触しないようにします。

手順 4



- バッテリーを上部ケースに固定している以下の5本のネジを外します。
- 5.2 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 2本
- 6 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 1本
- 2.6 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 2本

手順 5



⚠ バッテリーを取り外す時は、露出している6つのリチウムポリマー電池部分を、握ったり触ったりしないでください。

- バッテリーをロジックボードに近い上端から持ち上げ、上部ケースから取り外します。

★ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。

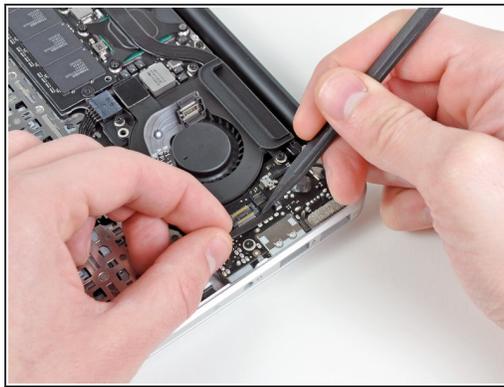
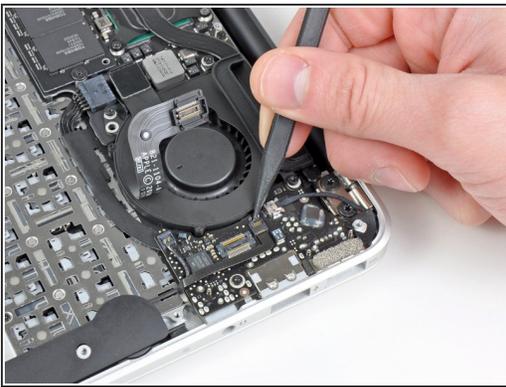
- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

手順 6 — 左スピーカー



- スパッジャーの平坦側を使いI/Oボードケーブルコネクタを上方に持ち上げI/Oボード上のソケットから外します。

手順 7

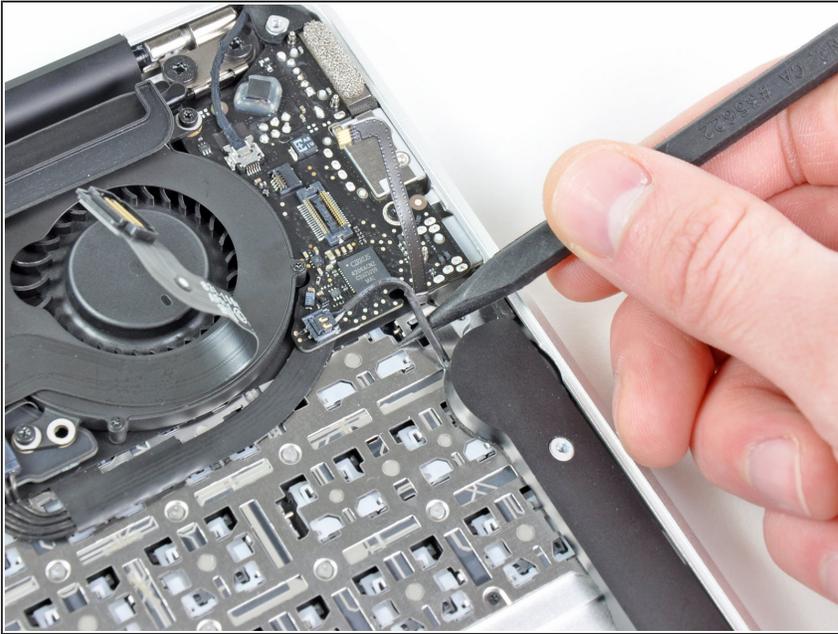


- スパッジャーの先端を使いマイクロフォンリボンケーブルZIFソケットの保持フラップを持ち上げます。

⚠ ソケット自体ではなく、ヒンジのある保持フラップを持ち上げているか確認してください。

- マイクロフォンリボンケーブルをソケットからまっすぐ引き抜きます。

手順 8



- スパッジャーの先端を使い左スピーカーケーブルをI/Oボード端の切り込みから外します。

手順 9



- スパッジャーの平坦側を使い左スピーカーコネクタをI/Oボード上のソケットから持ち上げ外します。
- ① ワイヤの下から持ち上げてください。

手順 10



- スパッツァーの平坦側を使い、左スピーカーを上部ケースに固定している接着を剥がします。

! 上部ケースに付けられたアルミ地の部分にスパッツァーを当てて、スピーカーを持ち上げてください。キーボード部分からこじ開けてしまうと、キーボードとスピーカーにダメージを与えてしまうことがあります。

- 左側スピーカーを上部ケースから取り出します。

手順 11 — マイクロフォン



- スパッツァーの先端を使ってマイクロフォンを上部ケースからはがします。
- 上部ケースからマイクロフォンを取り外します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。